

参考資料(測量・設計等業務・役務)

流動資産	現金預金	現金、小切手、送金小切手、送金為替手形、郵便為替手形、当座預金、普通預金、郵便貯金等	流動負債	支払手形	営業取引に基づいて発生した手形債権
	受取手形	営業取引に基づいて発生した手形債権(割引いたものがある場合は割引高を控除)		業務未払金	業務費の未払金
	完成業務未収入金	業務が完成し、引渡しは終わっているが、代金を受け取っていない未収額		短期借入金	履行期が決算期後1年以内に到来する借入金又は到来すると認められる借入金(金融手形を含む)
	有価証券	取引所の相場のある株式及び社債(国債、地方債、その他の債権を含む)で決算後1年以内に処分する目的で保有するもの		未払金	物件購入代金等の未払金で履行期限が決算期後1年以内に到来すると認められるもの
	未成業務支出金	引渡しを完了していない業務に要した業務費並びに材料購入、外注のための前途金、手付金等		未払費用	未払給料手当、未払利息等継続的な役務の給付を内容とする契約に基づいて決算期までに提供された役務に対する未払額
	材料貯蓄品	製品を製造するために使用する材料及び消耗工具並びに事務用消耗品等の棚卸高		未成業務受入金	引渡しを完了していない業務についての請負代金の受入高
	貸倒引当金	受取手形、売掛金等流動資産の部に属する債権に対する貸倒見込額を一括して記入		預り金	営業取引に基づいて発生した預り金及び従業員からの預り金
固定資産	建物・構造物	営業用として使用している建物、構造物の期末帳簿額(住居として併用している場合は、営業用として使用している坪数の全坪数に対する割合で按分した額を記入、借用している建物は含まない)	資本	純資本金(元入金)	前年末の次年度繰越純資本金。元入金ともいう
	機械・運搬具	営業用として使用しているプレス機械、せん盤、工作機械類及び船舶並びに自動車等の期末帳簿額		事業主借勘定	事業主が営業外資金から事業のために借りたもの(事業主個人の金を出資したもの、すなわち元入金に属するもの)
	工具機械・備品	各種の工具、器具、備品で耐用年数が1年以上であり、取得価格が相当額以上であるものの期末帳簿額		事業主貸勘定	事業主が営業の資金から家事費に充当した金額
	土地	営業用として使用している土地で、借地は含まない		当期利益(当期損失)	当年利益金(当年損失金)
繰延資産	繰延資産	開発費、試験研究費等の期末帳簿額			
合計	左右の合計は必ず一致すること		合計	左右の合計は必ず一致すること	
			次年度繰越純資本金	次年の純資本金(元入金)となる	

〔点検事項〕

(1) 当期利益(当期損失)

(D) = (A) - [(B)+(C)] … マイナスとなる場合は、当期損失(D)´に記入する。

(D) = (オ)、(D)´ = (オ)´ … 損益計算書の額と貸借対照表の額は同額。

(2) 次年度繰越純資本金

(キ) = (イ)+(ウ)+(オ) - (エ)又は(キ) = (イ)+(ウ) - (オ)´ - (エ)

(3) 貸借対照表又は損益計算書の合計は、同期間において左右同額であること。

(ア) = (カ)、(E) = (A)

(個人用)

経営状況の入力の仕方について(参考)
入力画面(コンサル2又は役務2)

経営状況

自己資本額	資本金	
	資本剰余金	
	利益剰余金	
決算後の資本金等の増減額		
流動資産		
流動負債		
固定資産		
税引前当期利益		
総資本		
売上高		

、 、 個人の場合は記入の必要はありません。

「貸借対照表」の「次年度繰越純資本金」

「貸借対照表」の「流動資産計」

「貸借対照表」の「流動負債計」

「貸借対照表」の「固定資産計」

「貸借対照表」の「当期利益(当期損失)」又は「損益計算書」の「当期利益(当期損失)」

「貸借対照表」の「資産の部の合計」又は「貸借対照表」の「負債・資本の合計」

「損益計算書」の「小計(総売上高)」